

こみや くにあき
小宮 國暉 議員
(新しい風)



- ◇長期総合計画、生涯学習
- ◇東京国体に向けた市の対応
- ◇公立保育園民営化の進捗状況
- ◇文化財の防火対策取り組み強化を

第五次長期総合計画での羽村市の生涯学習について

第五次長期総合計画（案）では、4つの基本目標の一番目に生涯学習が位置づけられ、平成24年度からは、「生涯学習基本計画」がスタートすることになっている。

長期総合計画（案）の将来像は、「ひとが輝き みんなでつくる安心と活力のまち はむら」と定められているが、実現するためには、生涯学習が極めて重要になると考える。

質問 生涯学習基本計画（案）に定める羽村ならではの特徴は何か。

市長 市では現在「生涯学習基本条例」の制定および「生涯学習基本計画」の策定に向けて取り組んでいる。市民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、あらゆる機会、場所において学習することができ、その成果を生かせる環境を整え、資質・能力の向上を通じて、地域社会全体の活性化を図っていく、生涯学習社会の実現を目指すものである。



▲生涯学習センターゆとろぎ

条例において生涯学習に関する基本理念を定め、基本計画の策定を義務付けることで、生涯学習活動と行政が行う生涯学習施策を計画的に推進する取り組みが、大きな特徴である。また、ライフステージごとに施策を立て、生涯を通じた学習活動の計画としていくことも大きな特徴である。



とみなが のりまさ
富永 訓正 議員
(公明党)



- ◇ポイ捨て禁止条例（仮称）の制定を
- ◇高齢者福祉について

ポイ捨て禁止条例（仮称）の制定を

質問 ポイ捨てが減らない現状を市はどう認識しているか。

市長 非常に残念。ボランティア活動により、地域づくりに向けた主体的な取り組みが活発に行われている。

質問 ポイ捨て禁止条例（仮称）の制定を急ぐべきではないか。

市長 市民等の意識を高めることが必要と考え、現在その準備を進めている。

質問 罰則規定をどう盛り込むか。

市長 検討中。必要と考えている。

質問 駅周辺等に禁煙エリア、喫煙所を設けてはどうか。看板等を歩道上や歩行者が多い路上に表示してはどうか。

市長 禁煙エリアの設定、喫煙場所の設置は必要であると考えている。表示などについても、検討している。

質問 市内企業等への徹底と協力体制の強化、周知徹底キャンペーンを。

市長 事業者の協力を求め、条例制定の趣旨の周知徹底を図っていく。

高齢者福祉について

質問 コミュニティビジネスへの活



▲富士見平高齢者住宅

動支援について。

市長 イベント支援や講座を企画実施。

質問 高齢者向け福祉サービス全般の広報をどのように行っているか。

市長 分かりやすい情報提供、必要な方に必要な情報が届くよう努めていく。

質問 市営高齢者住宅について、将来的にどう考えるか。公営住宅入居希望の高齢者へ何らかの支援が必要では。



質問 生涯学習を行政全般の中でどのように位置づけているか。

市長 市の最上位の計画として位置付ける平成24年度を初年度とする第五次長期総合計画を策定中であるが、生涯学習については、その中で、基本目標1「生涯を通じて学び育つまち」

として掲げ、施策の推進を図るとともに、並行して策定を進めている「生涯学習基本計画」において、施策の具現化を図っていくこととしている。

○その他、「文化財の防火対策取り組み強化を」等について質問しました。

なかじま まさる
中嶋 勝 議員
(公明党)



◇今後の風対策について

◇家庭福祉員制度について

◇情報管理・セキュリティ対策は

今後の風対策について

質問 台風12号・15号による被害は。

市長 倒木が80本、通行の支障17か所。

質問 それに伴う樹木の点検・検査は。

市長 72の公園と各施設の樹木を点検。安全面を重点に枯れ木や根の状態、民有地への影響などを調査した。

質問 不健全樹木への安全対策は。

市長 今年度中に70本にわたる不健全樹木の伐採や剪定を実施していく。

家庭福祉員制度について

質問 目が離せない0歳児保育への支援策と補助員を雇用した場合の助成を。

市長 家庭的保育サービスを担っている家庭福祉員制度全体について調査研究をしていく。

質問 備品費の使用条件の緩和を。

市長 要望を聞いて柔軟な対応を図る。

質問 施設整備費の援助と賠償責任保険の助成を。

市長 今後、制度全体についての研究を進める中で考えていく。

情報管理・セキュリティ対策は

質問 市のデータ等のセキュリティは。

市長 住民情報系は外部との接続はないので心配ない。内部情報系は、ウイルス対策ソフトの導入や常駐シス

テムエンジニアによる監視体制等、様々な対策を講じている。

質問 データのバックアップ体制は。

市長 住民情報系は毎日、内部情報系は週1回磁気テープ等へのバックアップを行い、遠隔地保管も行っている。

質問 有事の際、ホームページの作成更新等を他自治体に代行してもらってはどうか。

市長 地域防災計画の見直しの中で検討する。

質問 多文化共生の視点から、多言語での閲覧ができるようホームページの充実を。

市長 外国語翻訳サービスで多言語化に対応していく。

質問 情報管理上の事業継続計画（BCP）を具体的にどう進めるのか。

市長 最重要システムの選定作業等を行い、平成24年度内に策定していく。



▲台風で折れた玉川上水脇のケヤキ

はまなか としお
濱中 俊男 議員
(新政会市民クラブ)



◇子育て・教育について

子育て・教育について

羽村市は、第五次長期総合計画で、子育てから学校教育まで一体とした方針を示した。また、市には、児童・生徒の身体・生命の安全確保のため、学校施設を良好な状態に保つ義務がある。そこで、聞く。

質問 台風等で、雨漏りのする教室はないか。

市長 平成23年9月の台風15号では、7校、9教室で雨漏りが発生したため、速やかに修繕した。

質問 外壁等の滑落危険箇所はないか。

市長 羽村西小学校舎外壁の浮き彫り細工の一部が修繕を要するため、平成23年中に修繕を完了する計画で、現在、契約手続きを進めている。

質問 校舎の改修や建て替え計画は。

市長 羽村三中・羽村西小・小作台小の校舎について、今後10年間に大規模改修工事を行うが、今後10年の間で老朽化を理由に建替える校舎はない。

質問 通常の学級の先生の意識を高めるため、適応指導に関しての臨床心理等の研修を行ってはどうか。

教育長 教育委員会では、夏季休業日中に小・中学校の教員を対象とした適応指導に關しての専門的な研修を行っている。また、新しく教員になっ



▲昨年の「地域教育シンポジウム」の様子

にしかわ みさほ
西川 美佐保 議員
(公明党)



◇防災対策に「女性の視点」を ◇子育て家庭の支援充実について ◇健康人口を増やす予防対策

防災対策に「女性の視点」を

公明党の女性防災会議が自治体で実施した「女性の視点からの防災行政総点検」に基づき質問する。

質問 地域防災会議等のリーダーに一定の女性委員の登用を目指すべきではないか。

市長 災害対策基本法の規定に基づき、それぞれ条例を制定し、その長および構成員を定めており、男性、女性にかかわらず任命または委嘱している。

質問 地域防災計画に女性の視点を生かした役割を明記すべきでは。

市長 今後、避難所運営に重点を置いた防災訓練の実施などを検討する中で、女性の視点が生かされるよう見直す。

子育て家庭への活動支援について

質問 子育て家庭への健康教育の一貫として、保育も含めた軽い運動のできる事業を定期的に開催してはどうか。

市長 保育室や保育士が必要となるなどの課題もあり、ニーズを把握していく必要もあり、今後検討する。

質問 子育て支援センター機能の充



▲昨年の「はむら健康の日」の様子

実のため、親子等が朝から晩まで一緒に遊ぶ、食事ができ、子育てママのサークル活動もできる場所を提供してはどうか。

市長 市の地域子育て支援センターは子育てに関する相談等の場であり、その機能の中には、外部団体の活動場所や飲食場所の提供は含まれていない。一方、市内の児童館3館は、子育

た際には、不登校児童・生徒への対応等についての研修を義務付けている。

質問 子ども家庭部と福祉健康部の母子の健康に関する事務を、教育委員会に移管し、子どもに関する事務の一元化を図れないか。

市長 子ども家庭部を中心に、福祉健康部の所管する母子保健施策と教育

委員会の所管する学校教育との連携を図りながら、それぞれの事業の充実に努めており、現行の組織を維持強化していく。

て中の保護者が集まり、親子で遊び、情報交換、交流の場として活用されており、正午から午後1時まで決められた場所での飲食もできるようにしている。

健康人口を増やす予防対策について

質問 「大腸がんの無料クーポン券事業」についての考えを伺う。

市長 この事業は、がん検診の受診率向上を図る上で有効であることから、現在、実施を検討している。

質問 不育症への助成について市の考えを伺う。

市長 東京都の動向や先進事例などの情報の収集に努め、研究していく。

はしもと ひろたか
橋本 弘山 議員
(新政会市民クラブ)



◇住みよい地域社会の実現のために ◇姉妹都市・大学との提携について ◇多摩川に親しみ、活かしていく

住みよい地域社会の実現のために
質問 現在、羽村市内の公園のトイレの和式と洋式の設置割合は。

市長 市内47公園に130個の設置があり、その割合は和式トイレ88%、洋式トイレが12%である。

質問 今後の設置方針、取り組みは。
市長 高齢者、障害者、妊婦など、誰もが安全で快適に利用できることが基本であるので、常に状況を把握しながらその整備や維持保全に努めている。

質問 現在までの街路灯の設置要望の件数は。

市長 街路灯は道路交通の安全確保、夜間における犯罪防止の観点から設置を進めている。設置要望は63件である。

質問 設置基準はあるのか。

市長 市道における「羽村市街路灯設置基準」「街路灯設計基準」がある。

質問 今年度の設置状況は。
市長 設置要望のある箇所のうち、優先度の高い6か所に設置していく。

質問 今後の設置方針、取り組みは。
市長 現地調査や市民要望などを集約し、市道の街路灯設置基準に基づき、公共性・安全性・緊急性などを考慮しながら対応し、併せてLED化についても効果的に導入できるよう取り組んでいく。
姉妹都市およびその他の都市・大学との提携について
質問 その必要性、重要性は。
市長 姉妹都市を提携している都市同士には歴史、文化、立地、産業、環境などが類似し、提携以前からの市民交流が深いなど提携の必然性があり、将来に向かって相携えて発展していくという盟約の証を共有することが重要である。大学提携については、行政と大学という異業種双方の持つそれぞれの資源を高め、良い刺激を与え、両者の人材育成が期待できる。
○その他、「多摩川に親しみ、多摩川を活かしていくために」について質問しました。



▲けやき児童公園のトイレ